

幼保小連携・交流について

幼児教育と小学校教育を円滑に接続することの重要性

- 幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの。
- 幼児期は遊びを通して小学校以降の学習の基盤となる芽生えを培う時期であり、小学校においてはその芽生えを更に伸ばしていくことが必要。

中央教育審議会初等中等教育分科会 幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会報告（令和5年2月27日）

- 義務教育及びその後の学校教育の基礎を幼児期から培うことが必要
- 教育基本法・学校教育法において、幼稚園からはじまり大学に至るまで学校として体系的な位置づけがなされている。
- 「小1プロブレム」等の課題を踏まえ、幼稚園、保育所及び認定こども園と小学校との連携を一層強化し、子どもの学びの連続性の確保が重要

幼稚園教育要領（平成29年告示）

日の出町教育委員会 町立学校の教育課程編成方針

※幼保小（中）連携における一層の充実に関することを必ず教育課程に位置付けることとする。（令和5年度教育課程から）

大久野小学校

- 幼稚園・保育園の生活が小学校の生活や学習に円滑につながるよう、地域の幼稚園・保育園と連携し、「幼保小交流会」、「もうすぐ1年生」、弾力的な時間割の設定等、工夫して取り組んでいく。

平井小学校

- 「もうすぐ一年生」の取組や情報引継を通して幼・保との連携を図るとともに、小1スタートカリキュラムを実施し、登下校指導や生活科を中心とした合科的・関連的な指導等の充実を図り、1年生が安心して学校生活を送れるようにする。

本宿小学校

- 生活科を中心としたスタートカリキュラムを活用し、学習と生活の両面にわたる、幼・保・小の円滑な接続を図る。

スタートカリキュラムとは

小学校へ入学した子供が、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム。

日の出町での幼保小連携・交流の取組

もうすぐ1年生 ～就学前学校体験～

【体験例】

- 校舎内見学
- 小学校生活体験（模擬授業や鉛筆の持ち方指導）
- 小学校教員による幼児への話（小学校生活について）
- 年長児と1年生との交流
- 給食の試食



大久野地区 幼保小中交流会

大久野地区の幼稚園・保育園・小中学校における幼児・児童・生徒の現状と課題について交流を行い、子供たちの健全育成を図る。

【参加者】

- 大久野地区幼稚園教諭
- 大久野地区保育園保育士
- 大久野小学校教員
- 大久野中学校教員

【内容】

- 小学校授業公開
- 懇談会
 - ・各園、各校の状況や課題について
 - ・その他情報交換

